

こおりやま 社協ニュース



表紙協力: sweet hot (小原田)
(就労継続支援A型事業所)
就労継続支援A型...障がいのある方へ働く機会の提供を行うとともに、一般企業などで働くために必要なスキルの向上をサポートする障害福祉サービス。

特集 障がいのある方を支えるしくみ

2025(令和7年)
2月号No.22

イベント情報

令和6年度 第2回成年後見セミナー開催 「あなたの権利と財産どうしますか? ~成年後見制度と相続・遺言~」

成年後見制度の利用が必要な時に備えて、制度の内容や利用する際の具体的な手続きのほか、成年後見制度とも関わりのある相続・遺言についてわかりやすくお話しします。

日時: 令和7年3月18日(火) 13:30~16:00(開場12:45)
会場: 郡山市総合福祉センター 5階 集会室 (郡山市朝日1丁目29-9)
内容: 第1部 13:35~15:00
講演「成年後見制度の基本と相続・遺言について」司法書士 坂井 義明さん
第2部 15:20~15:50
説明「預けて安心! 自筆証書遺言書保管制度」福島地方法務局 郡山支局 職員

対象: 成年後見制度について関心のある方ならどなたでも
参加費: 無料
定員: 90人(事前申込先着制)
申込方法: グーグルフォーム(<https://x.gd/FgsiA>)にて3月14日(金)までにお申し込みください。
グーグルフォームの申込が難しい場合はTELもしくはFAXにてお申し込みください。

お問い合わせ 郡山市成年後見支援センター(郡山市社会福祉協議会内)
〒963-8024
郡山市朝日1丁目29-9 郡山市総合福祉センター1階
TEL: 024-983-1557 FAX: 024-924-2954



令和5年度のセミナーの様子



参加申込は「こおりやま」

園児募集

社協が運営している
保育所です

赤木保育所

定員 80名(0歳児から小学校就学前児まで)

保育目標
元気にあそべる子ども
友達と仲良くあそべる子ども
頑張れる子ども



郡山市赤木町23番2号
TEL: 024-922-3788 FAX: 024-973-7122

希望ヶ丘保育所

定員 129名(0歳児から小学校就学前児まで)

保育目標
げんきいっぱい
ともだちいっぱい
ちからいっぱいがんばる子ども



郡山市希望ヶ丘22番地1号
TEL: 024-951-0315 FAX: 024-951-3511

PR×DX×Healthcare

テリーナテリーナ

QOLをなんとかする、どうにかする。

マッサージ体験会・健康教室お伺いします!

まずはテリーナテリーナまでお気軽にお電話ください。

フリーダイヤル **0800-808-8778**

〒963-8811 福島県郡山市方八町2丁目5番16号NOVA東口ビル317号

手続きの事でお悩みの方へ

相続・遺言・生前整理
家族信託・成年後見
登記・測量・空家問題

TEL **931-6987**

手続きの **みらいと** 郡山市緑町29-7

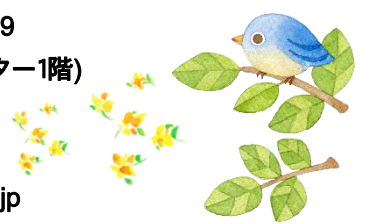
社協だより・社協ニュースの愛称を募集します!
アイデアがある方はメールやFAXでお送りください★

郡山市社協HP facebook

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<編集・発行> 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会
〒963-8024 郡山市朝日一丁目29-9
(郡山市総合福祉センター1階)

TEL : 024-932-5311
FAX : 024-932-6768
メール : k-shakyo@violin.ocn.ne.jp



障がいのある方を支えるしくみ

郡山市社会福祉協議会(以下「郡山市社協」)では高齢の方・児童・障がいのある方と地域住民の皆さまと共に地域づくりを行っています。今回は障がいのある方を地域で支えるしくみなどを紹介します。

連載

郡山市社協「推し人」宣言!

地域の皆さまから推して(応援して)もらえるよう、活動をシリーズで紹介します。

第3回目は郡山市障がい者基幹相談支援センター(以下「基幹」)の佐藤清一郎所長にお話を聞いてみました。



佐藤 清一郎 (さとう しんいちろう)所長
郡山市出身。趣味はバイク・キャンプ。
モットーは「頼まれたことは断らない」何事も常に進化を目指す「今日よりも明日・今年よりも来年」

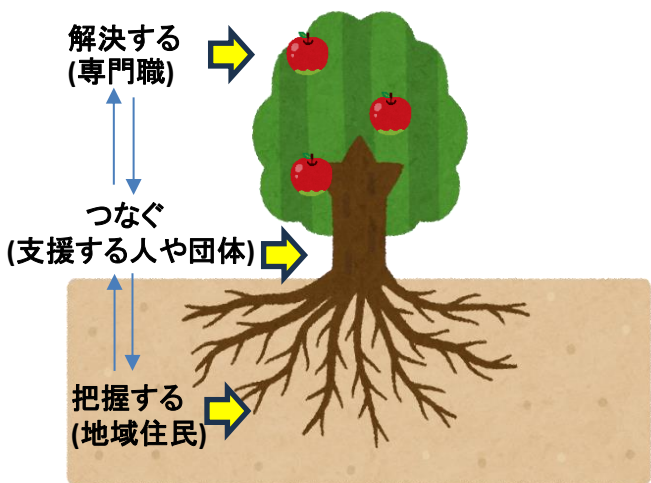
自立生活支援部会×ネットワーク部会

障がいのある方を支援する人の想い

障がいのある方と地域のつながりが弱いなあ

取り組み

郡山市社協で作り上げた「地域とのネットワーク」を活用して「皆で支え合えるようなまちづくり」を目指し、現在安積地区と開成地区をモデル地区として活動しています。困っている人を地域全体で支えられるよう地域住民と専門職のネットワークづくりに力を入れています。この活動を全地区に広められるよう尽力していきます。



障がいのある方を地域で支え合う イメージ図

Q..なぜこの仕事を志したのですか?

A..大学の専攻も福祉ではなく、就職活動時に漠然と、「自分は人のために役に立つ仕事に飛び込んではないか」と思い、それが福祉の業界に飛び込んだきっかけです。「障がいのある方に寄り添って一緒に考える」というスタンスがやはり自分に合っているみたいです。障がいに対する知識もなかった分、先入観なく障がいのある方と向き合えました。(現在は社会福祉士・精神保健福祉士・主任相談支援専門員の資格所持)

Q..趣味はなんですか?

A..キャンプ・バイクが好きです。頭の中を空っぽにしたいときよく行きます。最近は仕事関係の方とよく行きます。プライベートも一緒に過ごすことで、さらに深い関係づくりにつながっています。障がい者支援という道のりも、多くの仲間たちとともに進んでいきたいです。



【開成地区】

自立生活支援部会のメンバーが民生児童委員の定例会に参加したり、研修会を実施し、地域の方々の顔の見える関係づくりや事業所同士のネットワークづくりに取り組んでいます。

また、地域の話し合いの場である「協議体」と連携して地域資源マップを一緒に作成するなど地域との関係づくりを行っています。

※地域資源：地域にある企業や民生委員、ボランティア、近隣住民など地域の持つ強み



地域資源マップの開成わくわくミッケ!

【安積地区】

安積地区では、町内の福祉事業所が集まり、障がいのある方と地域の方々が一緒にゴミ拾いをしながらお互いを知るイベントを企画しました。お互いを理解し、助け合える関係づくりを目指しています。イベントは3月12日(水)の午後1時30分から行う予定です。安積地区の方に限らず参加できますので、障がいのある方との交流に興味のある方はお問い合わせください。

郡山市障がい基幹相談支援センター
(電話：024-983-3304)



Q..基幹の仕事を紹介してください。

A..郡山市から委託を受け、郡山市社協内に障がい者相談支援の中核機関としてセンターを置き、活動しています。基幹の特徴は、障がいのある方、個人を支援するのではなく、障がい者相談支援事業所のバックアップを行うことです。

また、そこに在籍している障がい者相談支援に携わる方々の人材育成を担っています。加えて、郡山市障がい者自立支援協議会の活動を通し、地域づくりに力を入れています。

Q..自立支援協議会とはなんですか?

A..障がいがあってもその人らしい生活を送ることができるよう、地域課題に関して様々な職種の方が集まり、話し合いをする場です。

子ども・就労・自立生活・ネットワークの4部門に分かれて話し合いをしています。今回は自立生活・ネットワーク部会についてご紹介します。



郡山市社協の出前講座

「幼少期から障がい理解を」郡山市社協では市内の小・中学生等を対象に「福祉教育」を推進しています。



電動車椅子に興味津々

郡山市社協職員が学校に伺い、講義を行います。車いす体験やアイマスクをして歩く、ブラインドウォーク体験など、高齢者や障がいのある方の視点になって学ぶことで、支え合いの輪が広がることを目的としています。

大槻小学校では「そもそも障がいって？」をテーマに、身体障がいのある方のお話を聞く対話型の講義を開催しました。講義後に

「障がいのある方は何もできないわけじゃない。ただ自分だけでは難しいことがある時は、お手伝いできたら良いと思った」などと、障がいについて理解を深めていました。



福祉教育のページはこちら

